

## 令和6年度 山の手地区地域福祉懇談会（新年度打合せ会議）報告

<p>福祉懇談会（山の手地区）</p> <p>日時：令和6年6月6日（木）19:00～20:20</p> <p>会場：小須戸地区ふれあい会館</p>	<p>出席者</p> <p>山の手コミ協：横山会長、荏原副会長、保科事務局長、斎藤事務員</p> <p>防災・防犯部：古泉副部長    環境部：高野部長    福祉部：五十嵐部長</p> <p>健康スポーツ部：五十嵐部長    ふれあい事業部：井上副部長</p> <p>小合・金津・小須戸圏域支え合いのしくみづくり会議：栗山構成員</p> <p>こすど蒼丘の里：澤田管理者（在宅介護支援センター）</p> <p>ほほえみほのか：又地施設長</p> <p>秋葉区社協：横山事務局長補佐、藤田</p>
--	--

	課題・具体的な取り組み（現況）	令和6年度取り組み
居場所	<p>○茶の間の参加について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者が高齢になり、免許返納や身体的な老化が見られる方が多く、参加人数が減少している。</li> <li>・行きたくても行けない人の支援の検討が必要となってきた。</li> </ul> <p>○茶の間の移動支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の地域の取り組みを参考にしたい。</li> <li>・この地域は、福祉施設が多く、移動支援について施設と相談していきたい。</li> </ul> <p>○ワンコイン酒場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催は定着してきているが、参加者も定着してきており、色々な人との交わりを考えたい。</li> <li>・交流だけではなく、様々な人の福祉活動への巻き込みを目的としている。</li> <li>・支え合いを広める、つながる場でもある。</li> </ul>	<p>○参加支援の検討</p> <p>○福祉施設と移動支援についての検討</p> <p>○福祉活動への巻き込みの工夫</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	令和6年度取り組み
居場所	<p>○子どもの居場所づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の居場所は大人が対象となっているので、子どもたちが参加できる居場所をつくりたい。</li> <li>・色々な世代と交流できるふれあい食堂を開催する。</li> <li>・各部と連携し、昼食以外にもポッチャや将棋等遊びの場も提供する。</li> <li>・新たな試みなので不安もあるが、色々な世代と交流していきたい。</li> </ul>	<p>○各部との連携</p> <p>○子どもの居場所のニーズ把握</p>
防災・防犯	<p>○防災（コミ協）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災士がどこにいるのか把握していないこともあり、防災士育成講座をコミ協で実施し、地域に防災士を育成していく。</li> <li>・防災関係に強い方が移住されてきたので、その方を講師に居所の大切さ等について防災防犯部で講習を行い、ノウハウを学ぶ。</li> </ul> <p>○防災（自治会）について （舟戸1.2自治会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の防災をこれから進めるうえで、図上訓練から始める。</li> <li>・班単位の助け合いが大切であり、班の中で支え合いができるしくみをつくっていく。</li> <li>・防災に取り組めていない自治会もあり、これから取り組むことが、他地区へ広まっていくとよい。</li> </ul> <p>（要支援者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員が要支援者全員を支援することは不可能であり、自治会との連携が必要である。</li> </ul>	<p>○防災士の育成</p> <p>○防災意識の向上</p> <p>○自治会の防災の取り組み</p> <p>○要支援者の把握と連携</p> <p>○自治会内の支え合いのしくみづくり</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	令和6年度取り組み
防災・防犯	<p>（防災の取り組み）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災防犯部がすすめる防災と自治会の取り組みがかみ合わない。</li> </ul> <p>○防犯（コミ協）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車両にステッカーを貼った防犯パトロールを企業と連携し行う。</li> </ul>	<p>○自主防災組織の活動の支援</p> <p>○企業との連携</p>
支え合い・地域活動	<p>○生活支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶の間から「やろうてば（ボランティア）」「人知笑会（コミュニティビジネス）」の活動へと発展し、一生懸命に活動しているが知らない人が多く、浸透していない。</li> <li>・ワンコイン酒場等、つながる仕掛けを行っているが、まだ福祉活動へ結びつかないのが残念である。</li> </ul> <p>○支え合いのしくみづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な行動がなく、成果になるものがない。</li> <li>・各地区の取り組みが伝わってこないため、わからない。</li> <li>・支え合いを行動に結び付けたい。</li> </ul> <p>○地域活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議のための会議は良くなく、行動することが大事である。</li> <li>・1つの事業の実施に向け、1つの部会ではなく、複数の部で連携することができた。</li> <li>・何もしなければ課題もない。行動すると課題もあがり、その課題を解決して</li> </ul>	<p>○活動の周知</p> <p>○活動者の広がり</p> <p>○支え合いのしくみづくりの推進（具体的な取り組み）</p> <p>○活動を進める（まず行動し、そして課題を解決）</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	令和6年度取り組み
支え合い・地域活動	<p>いくこと、行動しつつ学ぶことが大切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉活動をすすめることは、未来ビジョンにも関わってくる。</li> </ul> <p>○ふれあいまつりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高学年のやっている姿を下級生が見て、自分たちもやりたいと思っている。</li> <li>・例年通りではなく、新しいものを生み出すことを目指したい。</li> <li>・新しく山の手に入転されてくる方が多く、保護者である若い世代をどのように巻き込んでいくかを考えている。</li> </ul> <p>○地域の子どもたちについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動している子どもたちの様子を見ると、明るく元気で前向きで活発である。</li> <li>・子どもたちから手を振ってくれたり交流がある。</li> <li>・プライバシーに対して過度なものが見られる世の中だが、この地域では感じない。</li> <li>・地域活動に興味を持っていて、子どもたちからコミ協への提案も多い。</li> </ul> <p>○地域の交流について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転入してくる人が多いが、特に若い世代で人の交流がまったくない。特に、母親は子どもを通して交流があるが父親はない。</li> <li>・自治会内で男の集まる会を立ち上げ、さいの神や夏祭りを行ってきた。</li> <li>・コロナ禍を経て地域内の雰囲気が変わってしまった。</li> <li>・子どもが楽しむ会を実施したところ、その後子どもたちからも声をかけてくれるようになり、地域内の会話は大切である。</li> </ul>	<p>○子どもたちの想いを形にする支援</p> <p>○新しい人材の巻き込み</p> <p>○子どもたちとの世代間交流を通じた明るい地域づくり</p> <p>○自治会内のつながりづくりの工夫</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	令和6年度取り組み
支え合い・地域活動	<p>○未来ビジョンについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来ビジョンの仕掛けを検討中であり、アイデアを具現化していく。</li> <li>・子どもたちがここで学んでいけるのか、育っていけるのか、5年後、10年後の山の手を危惧している。</li> <li>・以前から山の手にいる人だけでなく、新しい人間関係をつくっていきたい。</li> <li>・1つ1つ継続した形をつくり、持続可能な取り組みを行っていく。</li> </ul>	<p>○子どもたちの未来へつながる持続可能な仕掛けの検討</p> <p>○転入者とのつながりづくり</p>
地域にある福祉施設	<p>○高齢者の住環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関から外に出れるかが基準であり、ほんの少しの段差等で外に出ることができない。</li> <li>・山の手（一部地域）は家の前に階段等ある家が多い。</li> </ul> <p>○防災への取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別避難計画の作成にあたり、一人一人把握することに難しさがある。</li> <li>・まずは事業所のBCP計画を進めている状況である。</li> </ul> <p>○地域とのつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面談では家の中の状況についてが中心となるが、福祉懇談会に参加したことで、地域の活動を知ることができたので、面談では地域の話題を会話に取り入れていきたい。</li> </ul> <p>○障がいの理解</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいの事業所を立ち上げる際、自治会長が協力的で山の手地区で立ち上げることができた。</li> </ul>	<p>○高齢者の状況の把握</p> <p>○事業所の防災への取り組み</p> <p>○個別避難計画、BCP計画の作成</p> <p>○支援の中で地域の情報の活用</p> <p>○障がいの理解の周知</p> <p>○地域と事業所の交流</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	令和6年度取り組み
地域にある福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者を見て小学生が防犯ブザーを鳴らそうとした様子があったので、学校に相談したところ、すぐに動いてくれ、交流した。その後は、子どもたちが施設前を通ると声をかけてくれるようになった。</li> <li>・障がいの理解を広げるためには、伝えること、交流することが大切であると気づいた。</li> </ul>	